



馬の学校

馬の学校通信

2021. 12 vol.84

発行 馬の学校

事務局 〒409-1501 山梨県北杜市大泉町西井出 3197-3-203 TEL/FAX : 0551-30-4397

E-mail : mine@horseschool.org ホームページ : <http://www.horseschool.org>



2000年に馬の学校設立！（うまエッセイ11）

大学院修了後、自分のやってみたいことをできそうな場所がなかったため、それなら作ればいい！

ということで、2000年に馬の学校を設立しました。（エッセイ11回目にして、やっとここまで来ました・笑）

立ち上げ時には友人にも協力してもらい、どんな名前にするのか、どんなプログラムをやっていくのか、プログラムをどう改善していくのかななどを、ファーストフード店に長居して、延々と話し合ったことも度々ありました。「馬が先生、馬場が教室」という理念をどう実現化していくのかを熱く語り合ったあの時間は、とても大切で、活動の原点なのだと思っています。初めからプログラムの枠組みがあったわけでもなく、大学院時代に行った「ウマキャンプ」に参加してもらうには、短時間で参加できたり、家族で参加できるプログラムがあるといいね、という感じで、今必要なプログラム、今できるプログラムを考えていくことになりました。（このスタンスは今でも変わっていません）馬の学校としての場所は持てないの、他の乗馬施設と連携して行っていくしかなかったのですが、結果として馬の学校の活動の幅を広げることになりました。いろいろとお世話になっていたYMCAが服部緑地乗馬センターでプログラムを行っていたので、紹介していただいて「馬とのふれあいプログラム」ができるようになりました。また、雑誌に載っていた「営業時間：日の出から日没まで」の表記に惹かれて見学に行ったホーストレッキング和知にも協力していただけることになり、「ファミリープログラム」につながりました。インターネットもそれほど普及していない当時、参加者募集はほぼ口コミで、多くの人に知ってもらうためにこの「馬の学校通信」の発行も始めました。手探り状態で、馬の学校だけで食べていくこともできず（これも今も変わらず・笑）、奈良YMCAで発達障害の子どもたちの学習指導の仕事を始めました。馬の学校以外で教育の仕事に携わることは、自分の視野を広げ、様々な人とつながる貴重な機会となっていきました。

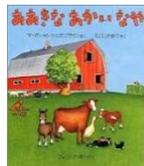


おすすめの本

『おおきなあかいなや』偕成社

マ-ガレット・ワズ・ブラウ さく、えくにかおり やく

農場のとある1日のお話で、いろいろな動物たちが出てきます。ぶた、うま、ひつじ、ろば、やぎ、がちょうのねずみ、にわとり、ちゃぼ、いぬ、ねこたちの、楽しく過ごしている様子が、素敵な文章と、柔らかい雰囲気の絵で描かれています。（人間は出てきません）娘が小さい頃に大好きだった絵本で、繰り返し繰り返し読みました。動物好きのお子さんにはお勧めの絵本です。



馬のおもちゃ

『木馬のおもちゃ』

この時期は、クリスマスグッズの紹介です。これもドイツのクリスマスマーケットで買って来たものです。クリスマスといえば鮮やかな色彩ものが多いのですが、木の色を生かした、とてもシンプルな色づかいに惹かれました。ゆらゆらと揺らしても楽しめますし、クリスマス以外の時期でも飾っておけます。これを出してくると、グリューワイン（ノンアルコール！）を飲みながら、クリスマスマーケットを歩き回ったことを懐かしく思い出します。





活動報告

ミルクiefレンズ in ファナウステーブル

ミルクiefレンズでは、ご自身の都合のいい日程で、ミルクiefの馬小屋掃除&ブラシがけをしていただけます。引越してきてからは、なるべく私も一緒にしたいと思って、日程を合わせています。小さなお子さんが来てくれる時には、娘が大活躍。少し手伝いつつ、一緒に楽しんでいます。



ミルクiefレンズ大募集中！

ミルクiefの預託料等をご支援いただきながら、馬小屋掃除やブラシがけのお世話ができる『ミルクiefレンズ』現在8名の方にご登録いただいています。目標20名で、まだまだ募集中です！

<会費>5,000円/月（一家族）

<ミルクiefレンズとしてできること>

- ・ミルクiefの馬小屋掃除・ブラシがけ等のお世話
- ・ファナウステーブルの馬小屋（ミルクief以外でも）を1つ掃除するごとにスタンプを1個、25個貯まればミルクiefのレッスンが1回無料になります。

詳細はこちらをご覧ください→



事務局が山梨県北杜市に移転

11月12日、とうとう北杜市に引っ越してきました！引っ越し当日、搬出作業が予定の2倍以上の時間がかかり（なぜ？荷物多すぎ？）、名古屋を出たのは午後6時を過ぎていました。夜の高速運転は慣れていないし、トラックいっぱいだし、雨まで降ってきてかなり不安でしたが、何とか午後10時半に宿泊するユースホテルに到着。すぐ寝ました（笑）。翌日の搬入は順調に進みましたが、冷蔵庫が内階段を通れず、クレーンで釣り上げることに。ここまでは想定内でしたが、それがなんと10日後。新生活は冷蔵庫なしでのスタートでした。でも保冷剤や小さな冷蔵庫を貸していただいて何とか乗り切り、無事に冷蔵庫も搬入。冷蔵庫のありがたさと、皆さんの温かさを感じた10日間でした。

ベランダからは富士山が見え、ファナウステーブルには車で20分足らずという素敵な環境です。さらに近くには、ミルクiefを含めたファナウステーブルのボロ（馬のうんち）を堆肥として使用しているケミカルフリーの畑もあり、馬をキーワードにいろいろつながれるのではないかと、ワクワクしながら考えています。

馬の学校通信は、馬の学校オフィシャルラインにご登録いただくと、スマホからも見られるように、PDFへのリンクをお送りしています。紙媒体好きな私としては、郵送を基本としていますが、PDFで読むので郵送不要という方はお知らせください。（ラインから個別メッセージが送れます）また、通信発行に間に合わないお知らせ等もお送りしますので、ぜひこの機会にオフィシャルラインへのご登録を！

こちらから→



編集後記

この1年は、ミルクiefの引っ越し、クラウドファンディング、さらに自分の引っ越しとなり、本当に目まぐるしい日々でした。でも振り返ってみれば、困り果てる前にいろいろな方が力を貸してくださり、まるでリレーのようにバトンが渡って今に至った、という感じがします。すでに新しい素敵な出逢いもあり、馬の学校の活動を含めて、山梨ならではの新たな生活スタイルを作っていきたいと思っています。

転校することになった娘は、登校初日の朝は超ドキドキのようでしたが、「友達ができたよ」と笑顔で帰ってきてくれて一安心。32人のクラスメイトはとても優しく、いろいろと教えてくれるとのことで、毎日楽しく通っています。週末にはミルクiefに会いに行き、世話をしたり乗ったり。ファナウステーブルで1日過ごした帰り道、「ミルクiefに会って、すぐに家に帰れるっていいねえ」と話し、山梨での生活を満喫しています。

（峯崎友香理）